

港区立高輪台小学校  
令和3年度 授業改善推進プラン

1 区学力調査の結果を踏まえた課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の内容を正しく聞き取ること。</li> <li>・自分の思いや考えを明確にして、文章を書くこと。</li> <li>・文学的文章や説明的文章の内容を読み取ること。</li> <li>・漢字を読んだり書いたりすること。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に課題を解決すること。</li> <li>・資料を読み取り活用すること。</li> <li>・社会的事象を自分の生活と関連付けて考えること。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を正確に捉え、式を立てたり、問題を解決したりすること。</li> <li>・自分の考えを式や図表を用いながらわかりやすく説明すること。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な知識・技能を身に付けること。</li> <li>・問題解決の力を身に付けること。</li> <li>・有用性の実感及び理科への関心を高めること。</li> </ul>

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使う力</li> <li>・日常生活における人との関わりの中での伝え合う力</li> <li>・言葉を手掛かりとしながら論理的に思考する力や豊かに想像する力</li> <li>・言葉がもつよさを認識する力や言語感覚</li> <li>・国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的をもって学習に取り組めるよう、明確で必要感のある学習課題や学習計画を設定する。また、児童自身がめあてをもって学習に取り組んだり、自分の学習を振り返り、次にかしたりすることができるように指導する。</li> <li>・国語科の授業だけでなく、日常の学校生活においても、児童自身が話を聞く必要感をもてるような場面を設定する。</li> <li>・話したり聞いたりするときのポイントやルールを分かりやすく提示する。</li> <li>・日常的に文や文章を書く機会を増やし、書くことへの苦手意識や抵抗感を減らす。</li> <li>・記述に入る前の題材設定、情報収集、内容・構成検討における指導を丁寧に行うなど、学習過程に沿って段階的に指導する。また、記述後の共有も大切にし、自分の文章のよさに気付けるようにする。</li> <li>・学年に応じ、文章を読み取るときのポイント（順序を考えながら読む、中心となる語や文をとらえる、事実と意見などとの関係を叙述を基に押さえるなど）を具体的に指導する。</li> <li>・読みの学習を読書につなげ、児童が読書に親しんだり、読書の幅</li> </ul>

	<p>を広げたりできるようにする。学校司書や学校図書館支援員、地域の図書館との連携を図り、学校図書館や地域の図書館を有効に活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字そのものに興味をもたせたり、漢字のよさに気付かせたりするような指導を行う。</li> <li>・漢字の反復練習にとどまるのではなく、熟語を集めたり、文中で漢字を使ったりするなど、日常生活の中で実際に活用する力につながるような練習をさせる。その際、辞書を活用するなどして、語彙を広げられるようにする。</li> <li>・小テストやベーシックドリル、漢字検定等を活用して、漢字の確実な習得を図る。</li> </ul>
--	---

社会	<p><b>育成を目指す資質・能力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主題的に課題を追求する技能</li> <li>・ 筋道を立てて考察する力</li> <li>・ 学んだことを生活や学習に活用しようとする態度</li> </ul>	<p><b>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の興味関心を引き出す導入を行い、自分の生活との関連を意識させ、主体的に課題を追求することができるような学習活動を設定し、問題解決の過程を重視する。</li> <li>・ 地図やグラフなどの資料の見方を指導し、必要な情報を選択し活用させる。</li> <li>・ 情報機器を活用したり、現場の方の話を聞いたりする場面を取り入れて、社会的事象への関心をもたせる。</li> </ul>
----	--	--

算数	<p><b>育成を目指す資質・能力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題を正確に捉え、立式をすること。</li> <li>・ 自分の考えをわかりやすく説明すること。</li> <li>・ 問題を解決していくこと。</li> </ul>	<p><b>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題場面を正確に捉えるために、授業で問題を扱うときには、「どんな条件が提示されているのか。」「何を求めるのか。」を明確にして立式をさせる。 低学年では、問題場面を動作化したり、操作活動を取り入れ、問題を理解したりさせていく。中学年以降では、既習事項を確認したうえで、図や表と関連付けながら、立式に取り組みさせる。</li> <li>・ 自分の考えをわかりやすく説明するためには、見通しをしっかりとめた上で、自力解決に取り組みさせることが大切である。  まずは、クラス全体で見通しをもたせ、共有することを行う。 次に、自力解決の時間に児童のよい考え方を称賛し、児童に自信をもたせながら解決に取り組みさせる。そして、児童がかいたノートの中で分かりやすいものを全体に共有し、どのようにかいたら、友達に伝わるのかを考えさせる。</li> <li>・ 算数は、系統的に内容が連なっている。本時で学習する問題も以前学習した知識を活用して解決していく。そのことを踏まえ、1時間で完結するのではなく、常に、「今日は、前回のこのような</li> </ul>
----	--	---

		内容を活用して問題を解決した。」「次はこんな問題を解決してみたい。」などの、学習の振り返りをノートに書かせていく。
--	--	---

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の事象、現象についての理解と観察、実験などの基本的な技能</li> <li>・問題解決の力</li> <li>・自然を愛する心情や主体的に粘り強く問題を解決しようとする態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決において、各学年で重視する過程に力を入れ、科学的な思考の仕方を指導する。</li> <li>・身近ではない学習の際には、デジタル教材等を活用し、実感を伴った理解ができるようにする。</li> <li>・有用性の実感及び理科への関心を高める観点から、日常生活や社会と学んだこととを結び付けて考えさせるようにする。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いの力</li> <li>・生活の場の認識</li> <li>・自分自身への気付き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動で、気付きについて話し合う場面を設ける。</li> <li>・子供の日常のつぶやきや発見を取り上げ、自分が見たことの意味を考えさせるようにする。</li> <li>・気付きを自覚させるために、発見したことを言葉で表現させる。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の要素の働きについて理解する。</li> <li>・音楽の要素の働きと曲想との関わりを感じ取ったり考えたりすることができる力を身に付ける。</li> <li>・楽器の基本的な演奏の仕方を身に付け、表現を工夫したり演奏したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書、ワークシート、ゲストティーチャーの活用及び学習形態の工夫により表現力を伸ばす。</li> <li>・ICT等の活用による基礎・基本の定着。</li> <li>・ペア、グループ活動やワークシートを活用した協働的学びによる意見交流を通し、自分の考えを広げ、互いの音楽性を高め合う。</li> </ul>

図工	<p><b>育成を目指す資質・能力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・造形的なよさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をする力</li> <li>・感性や想像力を働かせ、自分のイメージをもちながら意味や価値を創り出す力</li> </ul>	<p><b>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の実態や、発達に応じた題材の流れや、材料設定を行う。まず、児童が「やってみたい」「自分でもできそう」と思える導入を行う。児童が考える場面と、教師が教える場面とを組み立てて、「習得、活用、探求」という学びの過程を工夫する。</li> <li>・材料に触れ、試行錯誤する中で自分のイメージを表現できる題材を組み立てる。</li> </ul>
----	--	---

家庭	<p><b>育成を目指す資質・能力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活を見つめることを通して問題を見だし、解決すべき課題を設定する力</li> <li>・身に付けた技能で課題を解決したり、家庭で実践したりする力</li> </ul>	<p><b>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常に自分の生活との関連を意識させ、家庭生活への関心をもたせる。</li> <li>・実践的、体験的な活動を重視した学習を展開する。</li> <li>・デジタル教材等の ICT を活用し、実感を伴った理解ができるようにするとともに、効果的に技能を身に付けられるようにする。</li> </ul>
----	---	--

体育	<p><b>育成を目指す資質・能力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特性に応じた運動の行い方や、健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けること。</li> <li>・運動や健康についての課題を見付け、解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝える力。</li> <li>・運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度。</li> </ul>	<p><b>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元を通して、身に付けさせたい3つの資質能力を明らかにして指導に当たる。</li> <li>・振り返りで学習カードを活用し、自己の課題を見付けさせたり、次のめあてをもたせたりする。</li> <li>・児童の様子や学習カードの記述から学習状況を見取り、適切な言葉かけを行う。</li> </ul>
----	---	---

国際	<p><b>育成を目指す資質・能力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すすんでコミュニケーションを図ろうとする態度</li> <li>・既習言語を用いた豊かなコミュニケーションを行う力</li> <li>・場面や状況に応じコミュニケーションを行う力</li> </ul>	<p><b>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が見通しをもって活動できるような単元のゴール、単元計画を設定する。</li> <li>・児童がすすんで取り組みたいと思うような活動の設定をする。 →低学年から高学年まで、児童が必要を感じる言語活動を設定する。</li> <li>・既習の言語活動や、リアクションに必要な言葉（Wow! Oh!）</li> </ul>
----	--	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4つの基礎的な技能（読む・書く・聞く・話す）の定着</li> </ul>	<p>e t c.)などを、積極的に活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○話す・聞く活動の時間を十分に確保し音声に慣れ親しむ。</li> <li>○音声に慣れ親しんだ語句を、英語のノートやワークシートを用いて読む・書く技能を定着させる。</li> </ul>
--	---	--

道徳	<p>育成を目指す資質・能力</p>	<p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 善悪を判断し、すすんで きまりを守ろうとする態度</li> <li>・ 差別や偏見なく、思いやりの心をもって他者と関わろうとする態度</li> <li>・ 自他の生命を大切にしようとする心</li> <li>・ 目標に向かって努力しようとする心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議論したり、話し合ったりする活動を取り入れることで、互いの考えを認め合ったり、自分の考えを深めたりできるようにする。</li> <li>・ 自己を見つめる時間を設定し、これまでの自分の行動について振り返ることで、今後の実践意欲につなげる。</li> <li>・ 話し合い活動や自己を見つめる時間で自分の考えが書けない児童は、友達と「同じ」「似ている」「違う」等の意思表示ができるよう個別に支援する。</li> </ul>

特別活動	<p>育成を目指す資質・能力</p>	<p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ よりよい人間関係を育成しようとする態度</li> <li>・ 自主的実践的に活動する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年間計画をもとに、見通しをもって活動に取り組み、計画的に話し合い活動に取り組めるようにする。</li> <li>・ 学級の係活動や委員会活動の活動時間を十分に確保する。</li> <li>・ キャリアパスポートを活用し、行事や日々の生活を通して成長したこと、次に生かしたいことなどを一人一人が気付けるようにする。</li> <li>・ 委員会活動では高学年の児童が、より良い学校生活を目指して活動をすることができるようにする。</li> </ul>

総合的な学習の時間	<p>育成を目指す資質・能力</p>	<p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題設定の力</li> <li>・ 課題解決の力</li> <li>・ 主体的・探究的に学習活動に取り組む力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年間指導計画をもとに、計画的に授業を進めるようにする。</li> <li>・ 児童が「やりたい」「調べてみたい」「発表したい」と思えるような導入の工夫をする。</li> <li>・ 他教科での学習を生かし、情報収集、整理分析、まとめ表現する活動をくり返し行う。</li> <li>・ プログラミング学習については、情報担当と連携し、教員同士での学び合いの場を設定する。さらに児童同士でも学年間や学級間で学び合いができるような場の設定をする。</li> </ul>